# ビワ生育情報

千 葉 県 平成24年1月号

## 平成23年12月の気象

平成23年12月の半旬別気象は表 1 に示した。平均気温は全ての半旬で平年を下回った。 月平均気温は7.1  $\mathbb{C}$  で、平年より1.5  $\mathbb{C}$  、前年より2.9  $\mathbb{C}$  低かった。

氷点下日数は3日であったが、それが記録された第2、第4、第6半旬では最低極温も 氷点下を下回り、平年を大きく下回った。

降水量は、第4半旬以降に降雨がなかったが、第1半旬で平年を大きく上回る降雨があり、月合計は153mmで、平年より70mm(84%)、前年より22mm(17%)多かった。

日照時間は第3、第4、第6半旬を除く3半旬で平年を下回り、月合計は160時間で、平年より6時間(4%)、前年より15時間(9%)少なかった。

式 - 「											
半旬	気温(℃)				氷点	下日数	(日)	最低	最低極温(℃)		
	本年	平年	前年		本年	平年	前年	本年	平年	前年	
1	10.0	10.4	13. 1		0	0.1	0	4.6	2.7	4. 7	
2	7.3	9.5	10.4		1	0.2	0	-0.6	2.0	3.7	
3	8.8	8.9	12.1		0	0.4	0	3. 1	1.8	6.6	
4	6.0	8.0	7.8		1	0.6	0	-0.9	0.7	0.3	
5	5. 7	8.0	10.4		0	0.5	0	1. 1	0.2	4. 5	
6	5.0	7.2	7.0		1	1.4	0	-1.4	-0.5	0.7	
平均/計/最低値	7. 1	8.6	10.0		3	3.3	0	-1.4	-1.4**	0.3	

表1 平成23年12月の気象 (暖地園芸研究所)

※:12月の過去37年間の最低極温の平均

半旬	降	水量(m	m)	日.	日照時間(hr)			
	本年	平年	前年	本年	平年	前年		
1	123	19	51	18	26	26		
2	22	10	16	12	27	33		
3	8	16	18	35	27	22		
4	0	9	0	44	27	19		
5	0	10	46	16	27	37		
6	0	19	1	35	32	38		
合計	153	83	131	160	166	175		

### 2月の作業 (花房の発育は次ページ)

1月中旬~2月上旬は1年中で最も寒い時期である。本年は開花の進みが早いため(表 2)、寒害の影響は大きいと予想される。急な寒波には十分注意する。ビワの根は2月中下旬には動き始めるので、苗木の定植は2月中に行う。また、がんしゅ病の感染に備えて薬剤の散布も行う。

### 苗木の植え付け

ビワの苗木の植え付けは、発芽直前で根の活動がまだ緩慢な時期となる2月中下旬が適期である。苗木は根土を崩さないように土を付けた状態で移植すると植え傷みが少ない。 移植に時間を要する場合は、苗木の全ての葉を半切りしてから掘り上げるようにする。

植穴は直径約1.5m、深さ約50cmの穴を掘り、穴の底に完熟堆肥を入れる。土の埋め戻しは土が落ち着くときの沈下を見込んで地表面から約30cm高く盛り土する。定植後は苗に支柱を添え、十分にかん水した後、盛り土が乾かないように敷きわらをしておく。

#### がんしゅ病の予防散布

がんしゅ病は一度発生すると防除が難しいので、感染防止を目的として、春枝の新葉展開期の3月上中旬に薬剤散布を行う。幹、枝及び葉に薬液が十分付着するようにていねいに散布する。薬剤散布に当たっては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

## 樹及び花房の発育

ビワの開花期は表2に示した。暖地園芸研究所の開花始期(1花房内の蕾の10%が開花)は、「楠」が11月6日で、平年より3日、前年より1日早かった。「大房」は11月19日で、平年より6日、前年より25日早かった。「田中」は11月11日で、平年より2日、前年より8日早かった。

開花盛期(1花房内の蕾の50%が開花)は、「楠」が11月16日で、平年より13日、前年より12日早かった。「大房」は12月7日で、平年より15日、前年より23日早かった。「田中」は11月21日で、平年より17日、前年より16日早かった。

開花終期(1花房内の蕾の90%が開花)は、「楠」は11月28日で、平年より33日、前年より18日早かった。「大房」は1月1日で、平年より31日、前年より32日早かった。「田中」は12月4日で、平年より55日、前年より21日早かった。

本年は、花房の発現は遅かったものの、10月及び11月は平年より温暖だったため、開花の進みが早かった。年末に寒波があり、すでに開花終期に入っていた「楠」及び「田中」を中心に寒害を受けたと考えられる。花房の充実はやや悪いが、樹の生育は良好である。

表 2	ビワの開花期	(暖地園芸研究所)
1X Z		

口纸	開花始期(月.日) 本年平年前年		開花	盛期(月.	. 日)	開花終期(月.日)		
	本年 平年	前年	本 年	平 年	前年	本 年	平 年	前年
楠	11. 6 11. 9	11. 7	11. 16	11. 29	11. 28	11. 28	12. 31	12. 16
大 房	11. 19 11. 25	12. 14	12. 7	12.22	12.30	1. 1	2. 1	2. 2
田中	11. 11 11. 13	11. 19	11.21	12. 8	12. 7	12. 4	1.28	12.25

平年:1982年(昭和57年)~2010年(平成22年)の29年間の平均

【問合せ先:千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】 ※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html